

(株)サングローブフード (日本農産物をタイ、シンガポール、UAE等へ)



海外常設店舗での陳列状況

(株)サングローブフードは、昭和52年に青果物の輸入会社として設立。平成15年から中国等へ果物の輸出を開始。また、19年度農林水産省委託事業により、海外高級百貨店等に常設店舗を開設し(バンコク3店舗、ドバイ2店舗)、果物を中心に海外の富裕層に向けて販売・PR。

【輸出のきっかけ、販売戦略、工夫した点等】

- ・果物の輸入先の海外バイヤーから、日本の高品質な果物の引き合いがあり輸出を開始。
- ・17年からは、タイ等の在留邦人向けに野菜(長いも他)を輸出。その後現地消費者の購入も増加。
- ・農産物の荷痛み防止のため、段ボールの波形内装を2層化し、強度や冷蔵コンテナでの耐湿性を確保する
- ・海外の販売では、試食を通して他国産との品質の違いを体感してもらうほか、店頭で日本産果実がなぜ品質が高い(安全・安心、おいしい)のかを丁寧に説明しながら販売を行っている。

【輸出によるプラス効果等】

- ・輸出を行うことにより、企業知名度が向上。



右: 輸出に使用する段ボール
左: 一般的な段ボール



海外常設店舗での陳列状況